

韓国農林畜産食品部傘下公共機関 家畜衛生防疫支援本部の来訪について(報告)

2025年9月12日
(公財)日本食肉流通センター

9月10日(水)に、韓国から韓国農林畜産食品部傘下公共機関家畜衛生防疫支援本部の皆さん19名が当センターを訪れました。皆さんは政府系の職員として家畜の防疫業務に携わっている方々で、今回は韓国と日本の食肉流通の違いを勉強したいという目的での訪問です。

はじめのセンター施設の見学では、F棟に行って加工施設、枝肉冷蔵庫の様子を見ました。枝肉冷蔵庫に吊るされていた大きな和牛枝肉に目を輝かせて、写真をたくさん撮影されていました。

施設見学後、センターの小林専務から、センターの概要や日本の食肉流通について説明を行い、その後に意見交換を行いました。

韓国の皆さんからは、センターは枝肉を部分肉に加工して首都圏や大阪で販売しているが他の地域はどうなっているのか、韓国の出荷牛はメス、去勢、オスに区分されるが日本の区分はどうか、なぜ日本は口蹄疫のワクチンの使用を禁止しているのか、韓国の牛は32~36か月で出荷するが日本の和牛はどうかなど韓国と違いについて活発な質問がありました。センターにとっても韓国の事情を知るよい情報交換となりました。



韓国農林畜産食品部傘下公共機関家畜衛生防疫支援本部の皆さんと撮影